

認 定 書

国 住 指 第 2 4 7 7 号
平成 26 年 11 月 20 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0814
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（準不燃材料）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材 (準不燃材料)

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.5 ± 0.35 以下
表面化粧材の質量(g/m^2)	555.0 ± 55.5 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ3.5 ± 0.35mm以下</p> <p>質量$555.0 \pm 55.5 \text{g}/\text{m}^2$以下 (有機質量$251.0 \pm 25.1 \text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1]化粧：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>…質量$30.0 \pm 3.0 \text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10.0 \pm 1.0 \text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>(1) 合成樹脂：質量$30.0 \pm 3.0 \text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10.0 \pm 1.0 \text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>構成 ($\text{g}/\text{m}^2$)</p> <p> $\left\{ \begin{array}{l} \text{合成樹脂}^{*1} \dots\dots\dots 10.0 \pm 1.0 \text{以下} \\ \text{(但し、ポリエステル系は9.0以下とする)} \\ \text{無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤}^{*2} \dots\dots 0 \sim 20.0 \pm 2.0 \end{array} \right.$ </p> <p>(2) なし</p> <p>[2] 主素材：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>([1]化粧が(2)の場合に限る)</p> <p>…厚さ2.8 ± 0.28mm以下</p> <p>質量$385.0 \pm 38.5 \text{g}/\text{m}^2$以下^{*3} (有機質量$186.0 \pm 18.6 \text{g}/\text{m}^2$以下^{*4})</p> <p>構成 ($\text{g}/\text{m}^2$) ^{*3}</p> <p> $\left\{ \begin{array}{l} \text{塩化ビニル樹脂} \dots\dots\dots 114.8 \pm 11.5 \text{以下} \\ \text{(但し、合成樹脂インキ}^{*5} 0 \sim 10.0 \pm 1.0 \text{含む)} \\ \text{可塑剤}^{*6} \cdot \text{減粘剤 (カルボン酸エステル系)} \dots\dots\dots 66.6 \pm 6.7 \text{以下} \\ \text{(但し、減粘剤は} 0 \sim 10.0 \pm 1.0 \text{の範囲とする)} \\ \text{無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤}^{*2} \dots\dots\dots \\ \text{…} 11.5 \pm 1.1 \text{以上} \\ \text{有機質系発泡剤 (アゾジカルボンアミド系、オキシスチレンスチレンカルビトラジド)} \dots\dots\dots \\ \text{…} 0 \sim 6.0 \pm 0.6 \\ \text{有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)} \dots\dots\dots 4.6 \pm 0.5 \text{以下} \\ \text{有機質系顔料}^{*7} \dots\dots\dots 0 \sim 4.0 \pm 0.4 \\ \text{添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)} \dots\dots\dots 0 \sim 3.0 \pm 0.3 \end{array} \right.$ </p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	(2) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ $2.8_{\pm 0.28}$ mm以下 質量 $375.0_{\pm 37.5}$ g/m ² 以下 ^{※3} (有機質量 $176.0_{\pm 17.6}$ g/m ² 以下 ^{※4}) 構成 (g/m ²) ^{※3} 塩化ビニル樹脂 …… $108.6_{\pm 10.9}$ 以下 (但し、合成樹脂インキ ^{※5} 0~ $9.4_{\pm 0.9}$ 含む) 可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $63.0_{\pm 6.3}$ 以下 (但し、減粘剤は0~ $9.4_{\pm 0.9}$ の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{※2} … $10.9_{\pm 1.1}$ 以上 有機質系発泡剤 (アジジカルホニアミド系、オキシスパンゼン系、ポリブタジエン系) ……0~ $5.7_{\pm 0.6}$ 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $4.3_{\pm 0.4}$ 以下 有機質系顔料 ^{※7} ……0~ $3.8_{\pm 0.4}$ 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0~ $2.9_{\pm 0.3}$
	(3) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ $2.8_{\pm 0.28}$ mm以下 質量 $365.0_{\pm 36.5}$ g/m ² 以下 ^{※3} (有機質量 $166.0_{\pm 16.6}$ g/m ² 以下 ^{※4}) 構成 (g/m ²) ^{※3} 塩化ビニル樹脂 …… $102.5_{\pm 10.2}$ 以下 (但し、合成樹脂インキ ^{※5} 0~ $8.9_{\pm 0.9}$ 含む) 可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $59.4_{\pm 5.9}$ 以下 (但し、減粘剤は0~ $8.9_{\pm 0.9}$ の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{※2} … $10.2_{\pm 1.0}$ 以上 有機質系発泡剤 (アジジカルホニアミド系、オキシスパンゼン系、ポリブタジエン系) ……0~ $5.4_{\pm 0.5}$ 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $4.1_{\pm 0.4}$ 以下 有機質系顔料 ^{※7} ……0~ $3.6_{\pm 0.4}$ 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0~ $2.7_{\pm 0.3}$
	(4) 塩化ビニル系樹脂 …厚さ $2.8_{\pm 0.28}$ mm以下 質量 $355.0_{\pm 35.5}$ g/m ² 以下 ^{※3} (有機質量 $156.0_{\pm 15.6}$ g/m ² 以下 ^{※4}) 構成 (g/m ²) ^{※3} 塩化ビニル樹脂 …… $96.3_{\pm 9.6}$ 以下 (但し、合成樹脂インキ ^{※5} 0~ $8.4_{\pm 0.8}$ 含む) 可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $55.9_{\pm 5.6}$ 以下 (但し、減粘剤は0~ $8.4_{\pm 0.8}$ の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤 ^{※2} … $9.6_{\pm 1.0}$ 以上 有機質系発泡剤 (アジジカルホニアミド系、オキシスパンゼン系、ポリブタジエン系) ……0~ $5.1_{\pm 0.5}$ 有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $3.9_{\pm 0.4}$ 以下 有機質系顔料 ^{※7} ……0~ $3.4_{\pm 0.3}$ 添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0~ $2.5_{\pm 0.3}$

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3]裏打材^{※8}：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)裏打紙：</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1)有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>①有機繊維^{※9}…$65.0_{\pm 6.5}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}$15.6_{\pm 1.56}$以下とし、かつ有機質量を$52.0_{\pm 5.2}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1}…$8.8_{\pm 0.88}$以下</p> <p>有機繊維^{※9}…$46.0_{\pm 4.6}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$47.0_{\pm 4.7}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0_{\pm 0.1}$～$16.6_{\pm 1.66}$とする。)</p> </div> </div> <p>2)無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>①無機質系充てん材^{※2}…$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>②なし</p> </div> </div> <p>(2)裏打紙：</p> <p>([2]主素材が(2)で且つ[1]化粧が(2)の場合、又は[2]主素材が(3)若しくは(4)の場合に限る)</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1)有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>①有機繊維^{※9}…$75.0_{\pm 7.5}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}$18.0_{\pm 1.80}$以下とし、かつ有機質量を$60.0_{\pm 6.0}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1}…$10.1_{\pm 1.01}$以下</p> <p>有機繊維^{※9}…$53.0_{\pm 5.3}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$54.0_{\pm 5.4}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0_{\pm 0.1}$～$19.2_{\pm 1.92}$とする。)</p> </div> </div> <p>2)無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>①無機質系充てん材^{※2}…$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>②なし</p> </div> </div>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が (3) で且つ [1] 化粧が (2) の場合、又は [2] 主素材が (4) の場合に限り) …厚さ 0.5 ± 0.05 mm 以下 質量 150.0 ± 15.0 g/m² 以下 (有機質量 85.0 ± 8.5 g/m² 以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は 1) と 2) を組合せた仕様とする 1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする ①有機繊維^{※9} … 85.0 ± 8.5 以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10} 20.4 ± 2.04 以下とし、かつ有機質量を 68.0 ± 6.8 以下とする。) ②合成樹脂^{※1} … 11.6 ± 1.16 以下 有機繊維^{※9} … 61.0 ± 6.1 以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を 62.0 ± 6.2 以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}は $1.0 \pm 0.1 \sim 22.2 \pm 2.22$ とする。) 2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする ①無機質系充てん材^{※2} … $0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p> <p>※1:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。 ※2:無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、金属粉 (アルミニウム)、鉱物粒及び鉱物粉、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。 ※3:質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合質量及び配合組成とする。 ※4:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。 ※5:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレン・グリコールのいずれか、又は組合せとする。 ※6:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメチル酸系のいずれか、又は組合せとする。 ※7:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。 ※8:裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。 ※9:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。 ※10:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

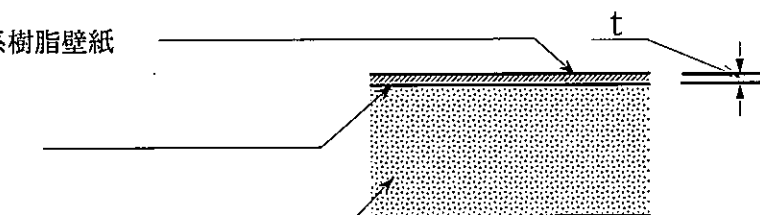
項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤 …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 組成 (質量%) { でん粉のり ……$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー: 合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤 …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 組成 (質量%) { メチルセルロース ……$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2] シーラー: 合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>※11: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料</p> <p>平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位: mm)

1) 表面化粧材: 塩化ビニル系樹脂壁紙

2) 接着剤及びシーラー

3) 基 材: 準不燃材料[※]



$t = 3.5$ 以下

※平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの